

2011年7月25日

産業革新機構、株式会社東芝とともに、スマートメーター世界最大手の ランディス・ギア社への出資を決定

株式会社産業革新機構(以下「INCJ」)は、株式会社東芝とともに、スマートメーター世界最大手のランディス・ギア社への出資を決定いたしました。INCJはランディス・ギア社の株式の40%を取得し、出資額は680百万米ドル(約550億円)になります。

ランディス・ギア社は、グローバルで約30カ国に事業展開しており、主に電力事業者向けに、電力メーター等の設計、製造、販売を行なっている企業です。近年では、スマートメーター(双方向通信機能を持った電力計)において世界No.1のシェアを誇り、関連するデータ通信、計測データ管理、サービスなども提供できるリーディングプレイヤーとしての地位を確立しています。スマートメーターは電力需給のコントロールを効率的に行うために必要な機器であり、スマートメーターを核にしたスマートグリッドビジネスの展開が期待されています。

INCJは、40%を出資する株主として、社外取締役の派遣等を通じて、今後の事業戦略の構築及び事業運営を支援するとともに、スマートグリッドビジネスの展開にあたり補完関係が見込まれるグローバルパートナー企業との連携を通じたオープンイノベーションの推進とビジネスのグローバル展開を目指します。

今般、株式会社産業革新機構(東京都千代田区丸の内、代表取締役社長 能見公一)は、株式会社東芝とともに、スマートメーター(注1)の開発製造を行うランディス・ギア社への出資を決定いたしました。INCJはランディス・ギア社の買収後の管理運営を行う会社(以下「対象事業者」)の株式の40%を取得します。INCJの出資額は680百万米ドル(約550億円)になり、過去最大額の投資になります。

ランディス・ギア社は、グローバルで約30カ国に事業展開しており、主に電力事業者向けに、電力メーター等の設計、製造、販売を行なっている企業です。2010年の売上高は1533百万米ドル(約1242億円)です。近年では、スマートメーターにおいて世界No.1のシェアを誇り、関連するデータ通信、計測データ管理、サービスなども提供し、スマートグリッド(注2)のリーディングプレイヤー

としての地位を確立しています。

スマートグリッド・スマートコミュニティ事業は、世界が目指す低炭素化社会の実現に不可欠な事業であり、エネルギーの効率化、環境面での貢献が期待されています。ランディス・ギア社の主要事業であるスマートメーターは電力需給のコントロールを効率的に行うために必要な機器であり、スマートメーターを核に事業領域と対象地域を拡大したスマートグリッドビジネスのグローバル展開が期待されています。

東芝はスマートコミュニティ関連事業に積極的に取り組んでおり、今回の買収後は、ランディス・ギア社とともに総合エネルギーソリューションを実現するためのハードウェア及びソフトウェアの標準方式を確立し、スマートグリッド及びスマートコミュニティ製品とサービスを世界に提供することを目指しております。

INCJは、40%を出資する株主として、社外取締役の派遣等を通じて、今後の事業戦略の構築及び事業運営を支援していきます。INCJは東芝、ランディス・ギア社に加え、スマートグリッドビジネスの展開にあたり補完関係が見込まれるグローバルパートナー企業との連携を通じた、オープンイノベーションを促進します。また政府が掲げる新成長戦略における重点分野であるスマートグリッドにおいて、日本企業が高い技術力をもつエネルギーマネジメント等を活かした新たな事業機会の創造とそのグローバル展開を目指します。

(注1) スマートメーターは双方向通信機能を持たせた電力計です。電力会社は電力消費状況をリアルタイムに把握することができ、その情報に基づき需要の抑制を依頼するなどエネルギーの需給バランスを調整することが可能となります。米国では2009年時点ですでに1000万台以上導入されています。欧州でもイタリア・スウェーデンでは、ほぼ全戸に導入済みであり、2020年までに全需要家の80%への導入がEU目標として定められ、約2億4千万台の導入が見込まれています。日本では実証試験が行われているものの、本格的な導入には至っていません。

(注2) スマートグリッド(次世代送電網)とは、電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し、最適化できる送電網のことで、これにより電力需要のピークシフトや再生可能エネルギーの導入促進が可能になります。また将来的にはスマートグリッドを基盤とし、CO2排出量が少なく、高効率で環境負荷の低い社会インフラが整備された都市(スマートコミュニティ)といった広い概念での取り組みが活発化すると想定されています。

ランドイス・ギア社について

- ・ 設 立 : 1896年
- ・ 本社所在地 : スイス ツーク (Zug)
- ・ 最高経営責任者 : 社長 アンドレアス・ウンバッハ (Andreas Umbach)
- ・ URL : <http://www.landisgyr.com/>

株式会社産業革新機構 (INCJ) について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額8000億円超の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJは、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJでは、これまでに合計15件・総額約590億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスやITの分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス・原子力発電等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

(本発表資料のお問い合わせ先)

(株) 産業革新機構 企画調整室 檜山・望月・鈴木
東京都千代田区丸の内1-6-5丸の内北口ビル22階
電 話 : 03-5218-7200 (大代表)